

## 最近の新興国通貨について

2013年6月4日

## ＜最近の為替市場では米ドルが堅調＞

5月の代表的な新興国通貨の対円騰落率をみると、南アフリカ・ランドが大きく下落し、中南米通貨も小幅下落しました。インドネシア・ルピアやフィリピン・ペソなどのアジア通貨は比較的堅調でしたが、それでも米ドルやユーロなどの先進国通貨と比べると、やや見劣りするパフォーマンスでした。

最近の為替市場の特徴の一つは、米ドルの堅調さにあります。これは、米国の労働市場に回復の兆しが強まってきたことで、米国経済の力強い回復に対する期待感が高まったためと思われます。市場ではFRB(米国連邦準備制度理事会)が量的金融緩和策の規模を縮小し、金融政策の正常化に着手するとの見方も強まっています。金利が上昇傾向にあり、米ドルを押し上げているとみられます。

米国の金融環境が変化しつつある中で、新興国通貨は全般的に先進国からの資金の先細りや巻き戻しなどの需給環境の悪化が懸念されており、対米ドルでやや軟調な展開となっています。

## 5月月間の主な通貨の対円騰落率

|     | 南アフリカ・ランド | ブラジル・レアル | メキシコ・ペソ | トルコ・リラ | フィリピン・ペソ | ユーロ  | インドネシア・ルピア | 米ドル  |
|-----|-----------|----------|---------|--------|----------|------|------------|------|
| 騰落率 | ▲7.3%     | ▲1.7%    | ▲1.6%   | ▲0.8%  | 0.8%     | 2.9% | 3.0%       | 3.3% |

※為替の騰落率は、投資信託協会が指定した金融機関によるわが国の対顧客電信売買相場の仲値を採用し、算出しています。

(出所)大和投資信託

## ＜今後の見通し＞

米国の金融環境の変化に対する懸念を背景に新興国通貨は対米ドルで弱含んでいますが、中期的にみれば米国や世界の景気回復は新興国通貨にとってポジティブです。その理由として主に3点挙げられます。

最初に、先進国の景気回復によって新興国から先進国向けの輸出が増加するため、新興国の経済成長率が加速することです。

次に、国際商品市況価格の上昇が挙げられます。新興国の中でも資源国とされる国の通貨には、より大きな上昇余地が生まれる可能性があります。

最後に、先進国の株式市場の上昇によりグローバルな投資家のリスク許容度が増加すると考えられ、新興国への投資を拡大させるインセンティブが強まる可能性があります。

新興国の金融市場や為替レートは最近の市場の混乱の中で、債券利回りは上昇し通貨パフォーマンスはやや見劣りしています。しかし新興国は高い成長機会に恵まれており、引き続き魅力の高い投資対象として考えられます。

以上

## 当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

## お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

### 手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大 1.20750%（但し、最低 2,625 円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の 30% 以上で、かつ 30 万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を当社との相対取引により売買する場合は、その対価（購入対価・売却対価）のみを受払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、債券の発行者または元利金の支払いを保証する者の財務状況等の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により、損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

### ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式、外国債券の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等：大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会